「戻った笑顔」

2007年7月、妻が頭蓋骨腫瘍の手術をしました。妻32歳の時でした。

女の命とも言える髪を切られ頭を剃られ、それでも「毛糸の帽子を買いに行かんとね」と笑いながら言う妻に、私は頷く事しか出来ませんでした。

術後の経過が悪く、痙攣発作を起こし意識を無くして、私の目の前で主治医が妻に心臓マッサージを始めました。そして再びICUに運ばれた時、私は妻の死を覚悟しました…

そんな事があったのが嘘のように、それから一ヶ月後には退院出来るまでに回復しました。

しかし、妻には以前の元気が無く、家族四

人で妻の実家の愛媛へ帰省することにしました。

そこで妻の弟からサッカーでも観に行かない？と誘われました。今までサッカーなんて興味も無かった私達でしたが、妻の気晴らしになればと思い、みんなで愛媛FCの試合を観に行ってみました。

今まで感じた事の無い興奮と感動がそこにはありました。そして、妻の顔には笑顔が戻っていました。

最後まで諦めずボールを追い続ける選手達に、妻は元気をもらえたのだと思います。

そして、サッカーの楽しさ、応援する喜びを私達に教えてくれました。

その年のホーム最終戦ではフェアプレーフ

ラッグを家族で持って、ピッチに入場させてもらえ、私達は忘れられない感動を愛媛FCから頂きました。

妻に元気をありがとう。

妻に笑顔をありがとう。

これからもいろんな人達に元気を与えつづけて下さい。

ありがとう愛媛FC。

岡山県在住

36歳

観戦歴4年